

3. 幼稚園・保育所

園の数、障害児受け入れの実態、専門機関との連携など

《子ども支援課 回答》

保育園 : 14園

内訳 公立: 8園 公設民営(指定管理): 2園 私立: 4園

幼稚園 : 園

内訳 公立: 6園 私立: 5園

公立幼稚園、公立保育園においては、常時医療的措置が必要でない限り、原則として受け入れる。障害の程度に応じて、園児1人(重度)から園児3人(軽度)に対して1人の障害児担当保育士を配置。障害児担当保育士の配置に当たっては子ども支援課支援児総括(保育士)が巡回して園と相談して配置。

公立保育園・幼稚園での要支援児の状況(平成25年6月現在)

	支援児	内、発達障がい	内、診断名判明	かりつけ医把握	主な診断名
公立幼稚園	69名	51名	20名	23名	広汎性発達障害・自閉症・ADHD・アスペルガー・左心低形成症候群・知的発達遅滞
公立保育園	67名	52名	24名	40名	自閉症・ダウン症・脳性まひ・ADHD・二分脊椎症・小眼球症
公設民営保育園(2園)	5名	3名	3名	3名	自閉症・PDDNOS・広汎性発達障がい
私立保育園(4園)	10名	2名	2名	2名	自閉症スペクトラム
私立幼稚園(5園)	16名	1名	1名	1名	広汎性発達障がい
計	167名	109名	50名	69名	

※ 加配保育士配置が手厚い公立の園に要支援児が流れる傾向にある。

別紙資料：要支援児の現状と推移(要支援児保育) 参照

4. 専門機関

(1) 知的障害児を対象とした福祉施設等（施設の規模およびプログラムの概要など）

《子ども支援課 回答》

- ・多治見市発達支援センター「なかよし」※児童発達支援事業 定員30名
 - ・多治見市発達支援センター「ひまわり」※児童発達支援事業 定員30名
 - ・ことばの教室（愛児幼稚園内）※市独自の任意事業 定員50名
 - ・ことばの教室（養正幼稚園内）※市独自の任意事業 定員50名
 - ・その他、行政以外の障がい福祉サービス事業所（Uライフ、おひさまなど）
- ・再掲：多治見市の就学前の療育体制について（別添）
- ・再掲：別紙資料（別添）

※成人知的障害者を含む市内施設→別添資料参照

(2) 知的障害のない発達障害を対象とした福祉施設等（施設の規模およびプログラムの概要など）

《子ども支援課 回答》

就学前については、知的障害の有無に関わらず子どもの特性に応じて支援

※ 圏域の発達支援センターに望むこと

- ・幼稚園では各園ごとに年数回開催する園内研究会に講師に来てもらうことを現在もしているが、今後も引き続きお願いしたい。
- ・センター主催の事例検討会や研修会にも参加している。
- ・園に来てもらい、個別の事例をみてもらえるとよい→巡回など。以前は音楽療法をしてもらい、その後にケース検討も行われていたが今はなくなってしまった。

(3) 発達障害専門の医療機関（常勤医師および非常勤医師の人数と診療人数）

《子ども支援課 回答》

県立多治見病院、市民病院。おかざきまりこクリニックに非常勤で中野 Dr 勤務
（その他、未調査のため把握していない。）

(4) 特別支援教育

《教育研究所 回答》

小学校：市立13校、その他の公立13校、私立0校

特別支援学校：市内になし

（参考）平成25年度 多治見市出身の小学部在籍者

- ・東濃特別支援学校（25名）
- ・可茂特別支援学校（5名）
- ・飛騨特別支援学校（1名）

知的障害特別支援学級：市立小学校13校中13校に設置（中学校も全校設置）

情緒障害特別支援学級：市立小学校13校中12校に設置（中学校は1校のみ設置→中学校の情緒学級はなくしていく方針。小学校の内に通常級へ移行させていく。）

※ 将来的に、原則自校通級としたい為、情緒学級に併設できないか検討中↓

通級指導教室：種別と設置校 言語通級（2校で3学級）

発達通級（2校で3学級）

※ 言語通級では、純粋に言語障害の為の利用の子は限られており、LDの子が多数含まれている（発達通級利用には医師の診断書が必要だが、LDは医療機関で診断がつかないことが多い）。しかし、LDの子に対して必要な支援内容は言語通級では難しく、来年はLDの為の通級を新設し、個別で学習指導を行う体制をとりたいと考えている（LDの判定基準も市独自で作成する予定）。その為、来年は言語通級を3、発達通級を4で要望している

発達障害の累積発生率と有病率

I 対象1:平成25年度の小学1年生(平成18年4月2日～平成19年4月1日生まれ)

上記の期間に出生した子どもの数(出生コホート) [872]人(男[451]人、女[423]人)

平成25年4月1日現在、地域に居住する小学1年生の子どもの数(居住コホート) [961]人(男[499]人、女[462]人)

(1) 出生コホートからの平成25年4月1日までの発生数(受診した子どものみ)

診断された 年齢	① PDD (F84)															計
	IQ69以下			IQ70以上			知的障害があると思われる			知的障害がないと思われる			知的障害の有無は不明			
	重複なし	F90 あり	他の重複 あり	重複なし	F90 あり	他の重複 あり	重複なし	F90 あり	他の重複 あり	重複なし	F90 あり	他の重複 あり	重複なし	F90 あり	他の重複 あり	
1歳代以下																
2歳代																
3歳代										2			1			3
4歳代										1						1
5～6歳代				4						1			2			7
不明																
合計				4						4			3			11
(男:女)	(:)	(:)	(:)	(2:2)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	(4:0)	(:)	(:)	(1:2)	(:)	(:)	(7:4)

診断された 年齢	② 多動性障害 (F90 ; ①を除外)															計
	IQ69以下			IQ70以上			知的障害があると思われる			知的障害がないと思われる			知的障害の有無は不明			
	重複なし	F80 あり	他の重複 あり	重複なし	F80 あり	他の重複 あり	重複なし	F80 あり	他の重複 あり	重複なし	F80 あり	他の重複 あり	重複なし	F80 あり	他の重複 あり	
1歳代以下																
2歳代																
3歳代																
4歳代																
5～6歳代										1			1			2
不明																
合計										1			1			2
(男:女)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	(1:0)	(:)	(:)	(1:0)	(:)	(:)	(2:0)

診断された 年齢	③ 会話および言語の特異的発達障害 (F80；①②を除外)										
	IQ69 以下		IQ70 以上		知的障害があると思われる		知的障害がないと思われる		知的障害の有無は不明		計
	重複なし	他の重複 あり	重複なし	他の重複 あり	重複なし	他の重複 あり	重複なし	他の重複 あり	重複なし	他の重複 あり	
1 歳代以下											
2 歳代											
3 歳代											
4 歳代											
5～6 歳代											
不明			2								2
合計 (男:女)	(:)	(:)	(2:0)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	(2:0)

診断された 年齢	④ 精神遅滞 (F70～F79；①②③を 除外)			その他	
	重複なし	重複あり	計	内訳 (診断と人数)	計
1 歳代以下					
2 歳代					
3 歳代					
4 歳代		1	1		
5～6 歳代	3		3		
不明					
合計 (男:女)	3 (3:0)	1 (1:0)	4 (4:0)		0 (:)

(2) 出生コホートからの平成 25 年 4 月 1 日までの発生数 (未受診例も含む)

- ① PDD とと思われる子ども [18]人 (男[14]人、女[4]人)
- ② ①以外で多動性障害と思われる子ども [4]人 (男[4]人、女[0]人)
- ③ ①②以外で会話および言語の特異的発達障害と思われる子ども [6]人 (男[6]人、女[0]人)
- ④ ①②③以外で精神遅滞と思われる子ども [10]人 (男[10]人、女[0]人)
- ⑤ その他の発達障害と思われる子ども [14]人 (男[10]人、女[4]人)

(3) 平成 25 年 4 月 1 日時点での居住コホートに含まれる有病者数（受診した子どものみ）

診断された 年齢	① PDD (F84)															計
	IQ69 以下			IQ70 以上			知的障害があると思われる			知的障害がないと思われる			知的障害の有無は不明			
	重複なし	F90 あり	他の重複 あり	重複なし	F90 あり	他の重複 あり	重複なし	F90 あり	他の重複 あり	重複なし	F90 あり	他の重複 あり	重複なし	F90 あり	他の重複 あり	
1 歳代以下	1															1
2 歳代	1									3						4
3 歳代																
4 歳代				1						2						3
5～6 歳代				4	1		1			3						9
不明							2			1	1		2	1		7
合計 (男:女)	2 (0:2)	(:)	(:)	5 (5:0)	1 (1:0)	(:)	3 (2:1)	(:)	(:)	9 (6:3)	1 (1:0)	(:)	2 (2:0)	1 (1:0)	(:)	24 (18:6)

診断された 年齢	② 多動性障害 (F90 ; ①を除外)															計
	IQ69 以下			IQ70 以上			知的障害があると思われる			知的障害がないと思われる			知的障害の有無は不明			
	重複なし	F80 あり	他の重複 あり	重複なし	F80 あり	他の重複 あり	重複なし	F80 あり	他の重複 あり	重複なし	F80 あり	他の重複 あり	重複なし	F80 あり	他の重複 あり	
1 歳代以下																
2 歳代																
3 歳代																
4 歳代										1	2					3
5～6 歳代										1						1
不明													1			1
合計 (男:女)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	2 (2:0)	2 (1:1)	(:)	1 (1:0)	(:)	(:)	5 (4:1)

診断された 年齢	③ 会話および言語の特異的発達障害 (F80 ; ①②を除外)										
	IQ69 以下		IQ70 以上		知的障害があると思われる		知的障害がないと思われる		知的障害の有無は不明		計
	重複なし	他の重複 あり	重複なし	他の重複 あり	重複なし	他の重複 あり	重複なし	他の重複 あり	重複なし	他の重複 あり	
1 歳代以下											
2 歳代											
3 歳代											
4 歳代											
5~6 歳代							1				1
不明							1		1		2
合計							2		1		3
(男:女)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	(1:1)	(:)	(0:1)	(:)	(1:2)

診断された 年齢	④ 精神遅滞 (F70~F79 ; ①②③を 除外)			その他	
	重複なし	重複あり	計	内訳 (診断と人数)	計
1 歳代以下	3		3		
2 歳代					
3 歳代	1		1		
4 歳代					
5~6 歳代	1	1	2		
不明	4		4		
合計	9	1	10		0
(男:女)	(5:4)	(1:0)	(6:4)		(:)

(4) 平成 25 年 4 月 1 日時点での居住コホートに含まれる有病者数 (未受診例も含む)

- ① PDD とと思われる子ども [52]人 (男[42]人、女[10]人)
- ② ①以外で多動性障害と思われる子ども [15]人 (男[14]人、女[1]人)
- ③ ①②以外で会話および言語の特異的発達障害と思われる子ども [10]人 (男[4]人、女[6]人)
- ④ ①②③以外で精神遅滞と思われる子ども [16]人 (男[11]人、女[5]人)
- ⑤ その他の発達障害と思われる子ども [4]人 (男[2]人、女[2]人)

II 対象2:平成 25 年度の小学 6 年生(平成 13 年 4 月 2 日～平成 14 年 4 月 1 日生まれ)

平成 25 年 4 月 2 日現在、地域に居住する小学 6 年生の子どもの数(居住コホート) [1,077]人(男[572]人、女[505]人)

(1) 平成 25 年 4 月 2 日時点での居住コホートに含まれる有病者数(受診した子どものみ)

診断された年齢	① PDD (F84)																				計	
	IQ69 以下			IQ70 以上				知的障害があると思われる			知的障害がないと思われる				知的障害有無は不明							
	重複なし	F90 あり	他の重複あり	重複なし	F90 あり		他の重複あり		重複なし	F90 あり	他の重複あり	重複なし	F90 あり		他の重複あり		重複なし	F90 あり		他の重複あり		
					重複なし	F81 あり	重複なし	F81 あり					重複なし	F81 あり	重複なし	F81 あり		重複なし	F81 あり	重複なし		F81 あり
1 歳代以下																						
2 歳代	1			1																		2
3 歳代	2			1							1											4
4 歳代																						
5～6 歳代	1			1				1						1								4
1 年生		1					1															2
2～3 年生	1		1	1	1									1								5
4～5 年生	1																					1
不明												7										7
合計(男女)	6 (6:0)	1 (1:0)	1 (1:0)	4 (4:0)	1 (1:0)	(:)	1 (1:0)	1 (1:0)	(:)	(:)	(:)	8 (8:0)	(:)	2 (1:1)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	25 (24:1)

診断された年齢	多動性障害（F90；①を除外）																				計	
	IQ69以下			IQ70以上				知的障害があると思われる			知的障害がないと思われる				知的障害有無は不明							
	重複なし	F80あり	他の重複あり	重複なし	F80あり		他の重複あり		重複なし	F80あり	他の重複あり	重複なし	F80あり		他の重複あり		重複なし	F80あり		他の重複あり		
					重複なし	F81あり	重複なし	F81あり					重複なし	F81あり	重複なし	F81あり		重複なし	F81あり	重複なし		F81あり
1歳代以下																						
2歳代																						
3歳代																						
4歳代														1								1
5～6歳代																						
1年生																						
2～3年生				1																		1
4～5年生				2	1																	3
不明						1						4		1								6
合計 (男女)	(:)	(:)	(:)	3 (2:1)	1 (1:0)	1 (0:1)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	4 (3:1)	(:)	2 (2:0)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	11 (8:3)

診断された 年齢	③ 会話および言語の特異的発達障害 (F80 ; ①②を除外)													
	IQ69 以下		IQ70 以上			知的障害があると思われ る		知的障害がないと思われる			知的障害の有無は不明			計
	重複なし	他の重複 あり	重複なし	F81 あり	他の重複 あり	重複なし	他の重複 あり	重複なし	F81 あり	他の重複 あり	重複なし	F81 あり	他の重複 あり	
1 歳代以下														
2 歳代														
3 歳代														
4 歳代														
5～6歳代														
1 年生														
2～3 年生														
4～5 年生														
不明								2						2
合計 (男:女)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	2 (2:0)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	2 (2:0)

診断された年齢	④ 学力の特異的発達障害 (F81；①②③を除外)			⑤ 精神遅滞 (F70～F79；①②③④を除外)			その他	
	重複なし	重複あり	計	重複なし	重複あり	計	内訳（診断と人数）	計
1歳代以下				3	1	4		
2歳代								
3歳代								
4歳代								
5～6歳代				1	1	2		
1年生				1	1	2		
2-3年生				2		2	チック	1
4-5年生								
不明	1		1	2		2		
合計 (男:女)	1 (1:0)	(:)	1 (1:0)	9 (6:3)	3 (3:0)	12 (9:3)		1 (0:1)

(2) 平成 25 年 4 月 2 日時点での居住コホートに含まれる有病者数（未受診例も含む）

- ① PDD とと思われる子ども [47]人 (男[36]人、女[11]人)
- ② ①以外で多動性障害と思われる子ども [20]人 (男[17]人、女[3]人)
- ③ ①②以外で会話および言語の特異的発達障害と思われる子ども [8]人 (男[7]人、女[1]人)
- ④ ①②③以外で学力の特異的発達障害と思われる子ども [3]人 (男[3]人、女[0]人)
- ⑤ ①②③④以外で精神遅滞と思われる子ども [14]人 (男[9]人、女[5]人)
- ⑥ その他の発達障害と思われる子ども [6]人 (男[3]人、女[3]人)

多治見市の就学前の療育体制について

1 多治見市の就学前の療育体制・機能分担

多治見市には、「発達支援センターなかよし」、「発達支援センターひまわり」、「ことばの教室（愛児幼稚園内）」、「ことばの教室（養正幼稚園内）」があります。これらの通所施設等の機能分担に基づき、発達支援委員会において適切と判断する通所施設等を案内しています。

通所施設等へ案内する上では、保健センターにおけるフォローアップ教室「ワンパク教室」や臨床心理士による発達支援総合窓口相談（保健センターに設置。週に 10 人の予約可。）、短期発達支援教室による状態把握及び待機児の受入など、療育関係機関が連携し対応しています。

また、子ども支援課に巡回支援専門員を、保健センターに発達相談支援員を各 1 名配置し、通所施設等や学校・保育園幼稚園との連携及び保護者支援を行っています。

（※その他、医療機関、行政以外の障がい福祉サービス事業者との連携も行われています。）

2 これまでの対応と利用状況

これまでに「通所施設等の役割分担による適正なサービス提供体制の確立」「発達支援委員会による適切な通所先の検討」「発達支援センターなかよし・ひまわりの利用定員の増加（定員増のための職員配置や委託料の増加）」「短期発達支援教室による状態把握及び待機児の受入」など、関係機関が連携し対応を行ってきています。

【利用状況】

平成 25 年 9 月 1 日現在

通所施設等	利用定員	利用人数	待機人数
なかよし	59	59（満員）	1
ひまわり	58	58（満員）	19
ことば愛児	50	50（満員）	0
ことば養正	50	39	△11

※ひまわりについては、今年度利用定員が 62（+4）となった。

※ワンパク教室については、利用者が増加傾向にあり、十分に利用案内が出来ない状況です。

※発達支援総合窓口相談についても、利用希望者が増加傾向にあり、1 ヶ月待ちの状況（新規・継続を含）です。継続のケースが多く、検査も予約待ち。平成 23 年の新規利用人数が延べ 132 人、24 年では 173 人となっている。

※短期発達支援教室（待機児の受入。ひまわりに設置。）についても、利用者が増加傾向にあります。

3 課題

これまでの待機児は、翌年 4 月には療育施設の利用ができていましたが、今年度は既になかよし・ひまわりに待機児が生じており、さらに増加が見込まれ、このままでは来年度 4 月になっても利用できない状況です。

以上のことから、待機児の対応（解消）が課題となっています。

1 多治見市の療育体制・機能分担

(1) 療育体制の機能分担の狙い

療育体制の機能分担により、乳幼児の特性に応じた適切な支援を確保することを狙いとしています。

内容	狙い	通所施設等
個別療育	一人ひとりの子どもの特性に合わせ個別に療育を実践し、子どもの身体機能・認知・心理行動面の発達を支援します。	「なかよし」 「ひまわり」
集団療育 (母子療育含む)	一人ひとりの子どもの活動を集団参加の中で実践し、社会性の発達を促すとともに、集団適応能力を高める支援をします。	「なかよし」 「ひまわり」
就学に向けたグループ指導	<u>小学校への就学に向け※</u> 、年少児から、保育園・幼稚園のクラスよりも小さいグループ(3-5人)において、社会性の発達・生活基盤の育成を支援します。※グループ化が難しく、課題となっている。	ことばの教室 「愛児」「養正」

※通常学級への入級が多い。

(2) 療育体制・機能分担

① フォローアップ教室「ワンパク教室」(保健センター)

概要：1歳半健診の事後の教室で、ことばや発達に心配のある子どもを対象に、親子あそびを中心に行う教室です。

対象年齢：1歳半～3歳

利用回数：月1回

② 発達支援総合窓口相談(保健センター)

概要：就学前の子どものことばや発達・育児等について、子どもの発達の専門家(臨床心理士)が個別で相談に応じ、発達検査などを行います。

期 日：毎週火・木・金曜日(祝日除く、予約制)

③ 短期発達支援教室(指定管理者 多治見市社会福祉協議会)

概要：子どもの状態を把握し適切な療育機関へ繋げることや、療育待機中の一時的な支援を行うことを目的とし、主に母子グループ療育を行います。利用期間は、原則最長6ヵ月です。

対象年齢：原則1歳半程度～年少児未満

利用回数：週1回

④ 発達支援センター「なかよし」「ひまわり」（指定管理者 多治見市社会福祉協議会）

概要：発達に支援を必要とする乳幼児に対し、通所により日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練等並びに相談及び検診を行い、その自立を支援します。「なかよし」及び「ひまわり」は、乳幼児の特性に応じた適切な支援を確保するために機能分担しています。法改正により、平成24年4月からは児童福祉法における児童発達支援事業を実施する施設となります。

ア 発達支援センターなかよし（元町3-28）

主な対象は、0歳～年少児における早期療育を重視し、母子療育・個別療育・集団療育を必要とする乳幼児です。ただし、肢体不自由児や重度の知的障がいなど障がい特有の個別療育を必要とする場合は、年齢に関わらず就学前まで対象とします。

イ 発達支援センターひまわり（笠原町1194-1）

主な対象は、1歳半～年少児における早期療育を重視し、個別療育・集団療育を必要とする幼児です。ただし、中軽度の知的障がいなど障がい特有の個別療育を必要とする場合は、年齢に関わらず就学前まで対象とします。

⑤ ことばの教室「愛児幼稚園内」「養正幼稚園内」

概要：ことばが遅れている、落ち着きがない、大人や子どもとうまく遊べない、集団に入れないなどの年少児以降の就園後の子どもを主な対象とし、就学に向けた小集団における発達に関する成長支援を行います。子どもの住所や園の住所などにより決定します。

ア ことばの教室「愛児幼稚園内」（弁天町1-7）

対象：川北地域

イ ことばの教室「養正幼稚園内」（平野町2-79）

対象：川南地域

⑥ 発達支援委員会（子ども支援課）

概要：発達に関して支援の必要な子どもについて適切な支援が可能となるよう、保育に関すること、発達支援センター等への通所に関すること、利用施設の見直しに関すること、各関係機関の連絡調整に関すること、多治見市療育体制に関することなどについて検討を行うこととしています。

委員構成：医師、保健センター臨床心理士、保健センター保健師、東濃子ども相談センター職員、なかよし職員、ひまわり職員、幼稚園の職員、保育園の職員、ことばの教室職員、子ども支援課要支援児担当総括職員、福祉課障がい児者担当職員、子ども支援課保育園幼稚園調整担当職員、主任児童委員代表、教育相談室の職員など

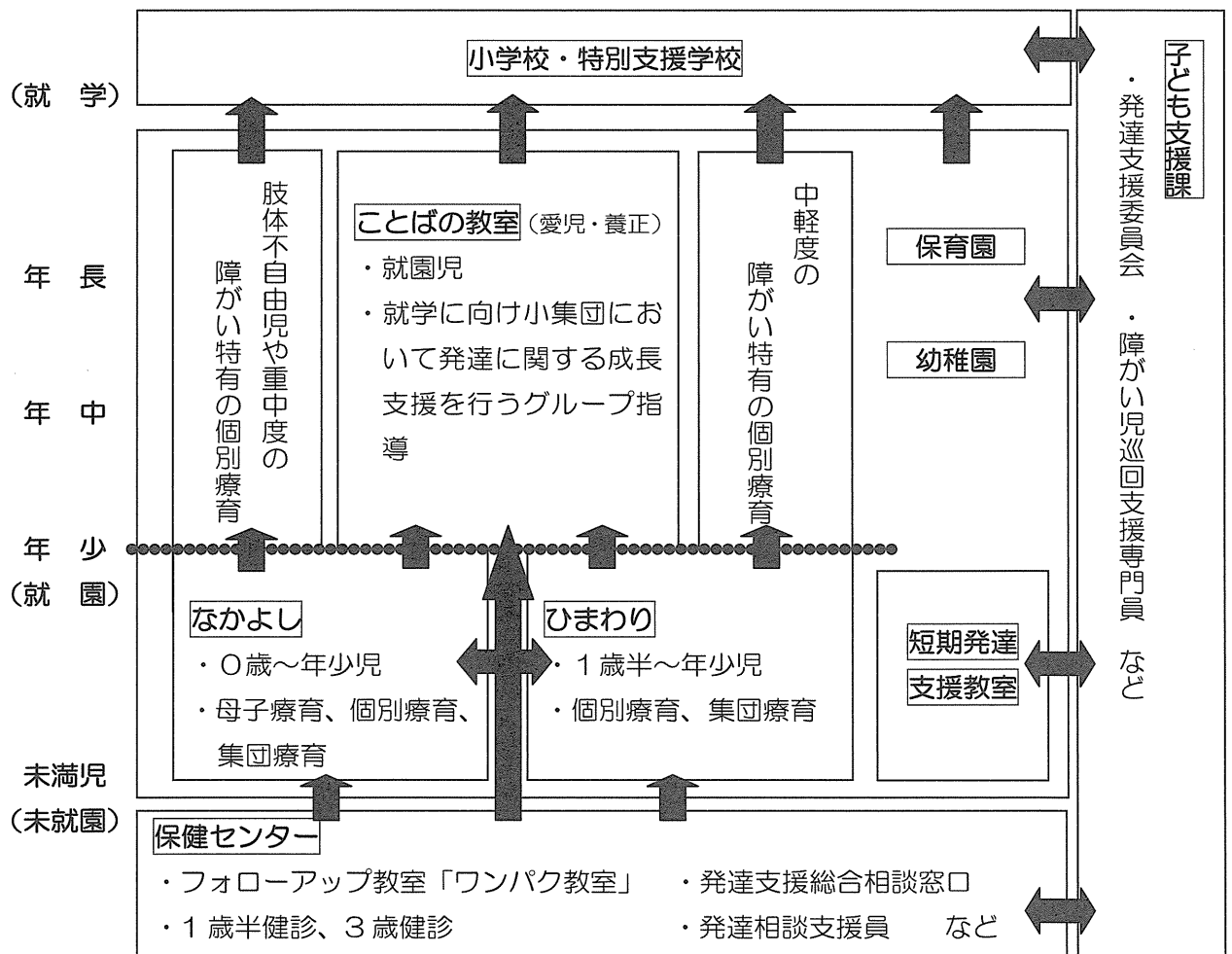
⑦ 障がい児巡回支援専門員（子ども支援課）

概要：発達に支援を必要とする子どもが通う通所施設等や関係機関を巡回し、施設や保護者の支援や調整などを行います。

⑧ 発達相談支援員（保健センター）

概要：発達支援総合窓口相談に関する保護者への支援や関係機関との調整などを行います。

2 多治見市の療育体制・機能分担図



3 通所施設等の判断基準(機能分担)について

通所施設等の判断は、以下の基準を参考とし総合的に勘案し判断します。この基準において、目安として発達指数を数値で示していますが、数値のみで判断することがないよう、これまでどおり子どもの特性に応じた適切な支援内容を判断します。

(1) 多治見市発達支援センター(「なかよし」「ひまわり」共通事項)

ア 身体障害者手帳又は療育手帳を所持している児童
イ 保健センター・児童相談所・保健所・医療機関等から療育の必要性が認められた児童又は障がいがあると診断された児童。具体的には、主に保健センターが行う新版K式発達検査において、姿勢／運動、認知／適応、言語／社会の発達指数(以下「発達指数」という。)がすべて70未満の児童。ただし、発達指数がすべて70以上であっても、発達のアンバランスさがみられる児童や姿勢・運動について指数が出ない児童など適正な検査結果を得られない場合、保健センター等検査機関の見解を参考とします。

① 多治見市発達支援センター「なかよし」

ア 0歳～年少児

イ 年齢に関わらず、肢体不自由児や軽中度の知的障がいなど障がい特有の個別療育を必要とする場合。具体的には、発達指数が1つでも60未満の児童。ただし、発達指数がすべて60以上であっても、発達のアンバランスさがみられる児童や姿勢・運動について指数が出ない児童など適正な検査結果を得られない場合、保健センター等検査機関の見解を参考とします。

② 多治見市発達支援センター「ひまわり」

ア 1歳半～年少児

イ 年齢に関わらず、中軽度の知的障がいなど障がい特有の個別療育を必要とする場合。具体的には、発達指数及び保健センター等検査機関の見解において、多治見市発達支援センター「なかよし」の基準に該当しない児童

(2) ことばの教室(「愛児幼稚園内」「養正幼稚園内」共通事項)

就園児における小学校就学に向けた小集団指導を必要とする幼児とします。

ア 就園児(年少児～年長児)

イ 発達指数がすべて70以上の児童。ただし、発達指数が70未満であっても、発達のアンバランスさはみられないが社会性の遅れが顕著な場合などを理由に小集団での指導の必要性が認められる児童については、保健センター等検査機関や園の見解を参考とする。

ウ 通級しようとする児童の住所で通級することばの教室を判断します。ただし、園の住所や家庭の事情、各ことばの教室の通級人数の状況等を考慮します。

川北地域…ことばの教室「愛児幼稚園内」

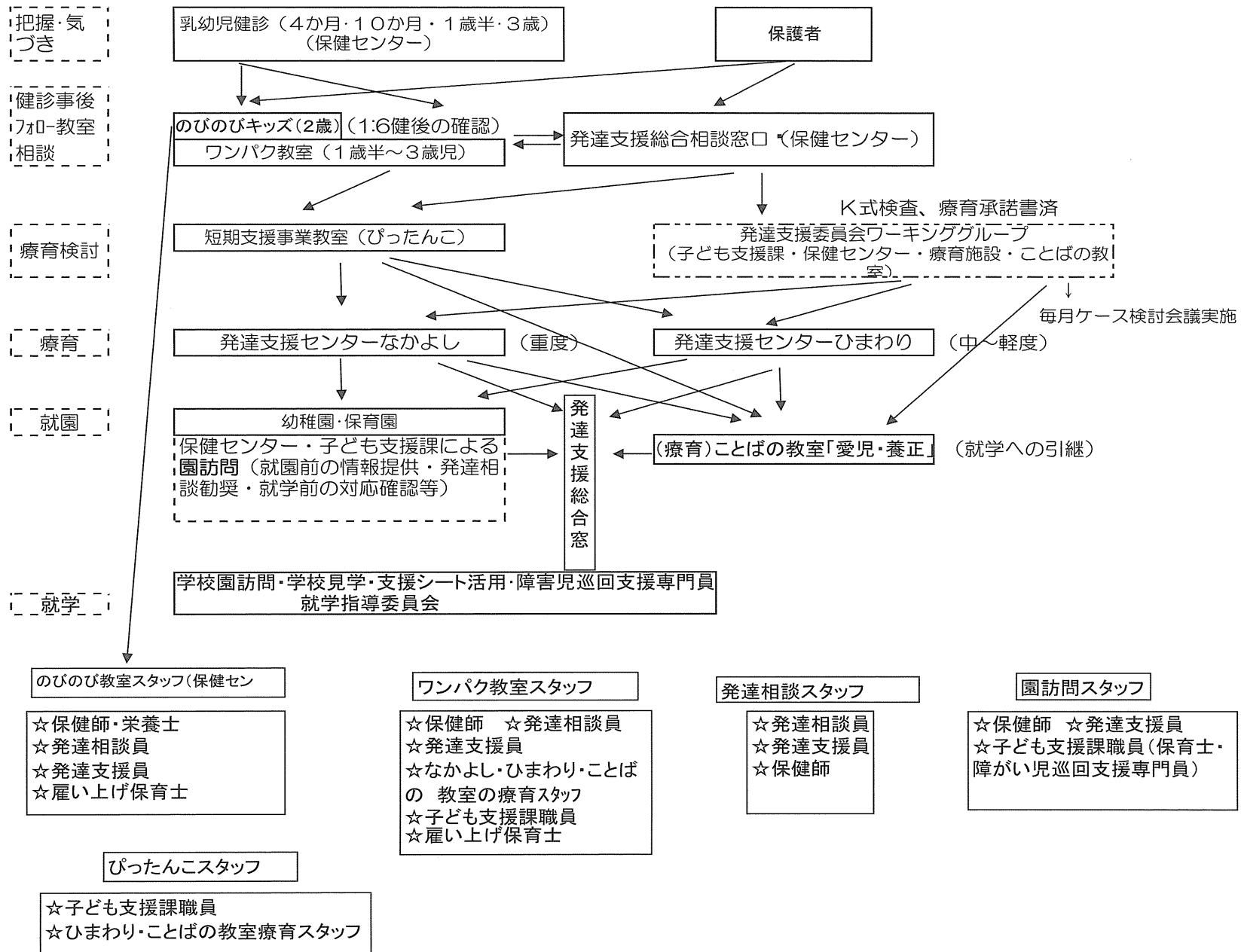
川南地域…ことばの教室「養正幼稚園内」

エ どちらかが定員に達した場合は、空きがあることばの教室に通級する。

(3) その他

主たる対象児及び発達支援の必要な児童の通所施設等の判断は、児童をより適切な通所施設等へ繋げるため、半期及び1年ごとに実施する。

就学前の支援に至るまでの経路



(3) 平成 25 年 4 月 1 日時点での居住コホートに含まれる有病者数（受診した子どものみ）

診断された 年齢	① PDD (F84)															計
	IQ69 以下			IQ70 以上			知的障害があると思われる			知的障害がないと思われる			知的障害の有無は不明			
	重複なし	F90 あり	他の重複 あり	重複なし	F90 あり	他の重複 あり	重複なし	F90 あり	他の重複 あり	重複なし	F90 あり	他の重複 あり	重複なし	F90 あり	他の重複 あり	
1 歳代以下	1						1						1			3
2 歳代	1	2		4												7
3 歳代	1			2												3
4 歳代				4	2											6
5～6 歳代	1			7	2											10
不明																0
合計	4	2		17	4		1									29
(男:女)	(2:2)	(2:0)	(:)	(13:4)	(4:0)	(:)	(0:1)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	(21:8)

診断された 年齢	② 多動性障害 (F90 ; ①を除外)															計
	IQ69 以下			IQ70 以上			知的障害があると思われる			知的障害がないと思われる			知的障害の有無は不明			
	重複なし	F80 あり	他の重複 あり	重複なし	F80 あり	他の重複 あり	重複なし	F80 あり	他の重複 あり	重複なし	F80 あり	他の重複 あり	重複なし	F80 あり	他の重複 あり	
1 歳代以下																0
2 歳代				1												1
3 歳代	1			1												2
4 歳代																0
5～6 歳代	1			3												4
不明																0
合計	2			5												7
(男:女)	(2:0)	(:)	(:)	(4:1)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	(6:1)

診断された 年齢	③ 会話および言語の特異的発達障害 (F80；①②を除外)										計
	IQ69 以下		IQ70 以上		知的障害があると思われる		知的障害がないと思われる		知的障害の有無は不明		
	重複なし	他の重複 あり	重複なし	他の重複 あり	重複なし	他の重複 あり	重複なし	他の重複 あり	重複なし	他の重複 あり	
1 歳代以下											
2 歳代											
3 歳代											
4 歳代									1		1
5～6 歳代			1				1				2
不明											
合計 (男:女)	(:)	(:)	(0:1)	(:)	(:)	(:)	(0:1)	(:)	1 (1:0)	(:)	3 (1:2)

診断された 年齢	④ 精神遅滞 (F70～F79；①②③を 除外)			その他		
	重複なし	重複あり	計	内訳 (診断と人数)		計
1 歳代以下	2		2			0
2 歳代	1		1			0
3 歳代	3		3			0
4 歳代			0	母子分離不安	2	2
5～6 歳代	1		1	適応障害+チック	1	1
不明			0	チック	1 (7 歳)チック(疑)	1
合計 (男:女)	7 (5:2)	(:)	7 (5:2)			5 (5:0)

(4) 平成 25 年 4 月 1 日時点での居住コホートに含まれる有病者数 (受診例のみ)

- ① PDD とと思われる子ども [29] 人 (男 [21] 人、女 [8] 人)
- ② ①以外で多動性障害と思われる子ども [7] 人 (男 [6] 人、女 [1] 人)
- ③ ①②以外で会話および言語の特異的発達障害と思われる子ども [3] 人 (男 [1] 人、女 [2] 人)
- ④ ①②③以外で精神遅滞と思われる子ども [7] 人 (男 [5] 人、女 [2] 人)
- ⑤ その他の発達障害と思われる子ども [5] 人 (男 [5] 人、女 [0] 人)

II 対象2:平成 25 年度の小学 6 年生(平成 13 年 4 月 2 日～平成 14 年 4 月 1 日生まれ)

平成 25 年 4 月 2 日現在、地域に居住する小学 6 年生の子どもの数(居住コホート) []人(男[]人、女[]人)

(1) 平成 25 年 4 月 2 日時点での居住コホートに含まれる有病者数(受診した子どものみ)

診断された年齢	① PDD (F84)																				計	
	IQ69 以下			IQ70 以上				知的障害があると思われる			知的障害がないと思われる				知的障害有無は不明							
	重複なし	F90 あり	他の重複あり	重複なし	F90 あり		他の重複あり		重複なし	F90 あり	他の重複あり	重複なし	F90 あり		他の重複あり		重複なし	F90 あり		他の重複あり		
					重複なし	F81 あり	重複なし	F81 あり					重複なし	F81 あり	重複なし	F81 あり		重複なし	F81 あり	重複なし		F81 あり
1 歳代以下																						
2 歳代	1				1												1					3
3 歳代	1			4																		5
4 歳代	2																					2
5～6 歳代	3			1			1										4			1		10
1 年生				1	1																	2
2～3 年生	2			1			1															4
4～5 年生					1			1														2
不明																						
合計	9			7	3		2	1									5			1		28
(男女)	(8:1)	(:)	(:)	(7:0)	(1:2)	(:)	(2:0)	(1:0)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	(5:0)	(:)	(:)	(1:0)	(:)	(25:3)

診断された年齢	多動性障害（F90；①を除外）																					
	IQ69以下			IQ70以上				知的障害があると思われる			知的障害がないと思われる				知的障害有無は不明				計			
	重複なし	F80あり	他の重複あり	重複なし	F80あり		他の重複あり		重複なし	F80あり	他の重複あり	重複なし	F80あり		他の重複あり		重複なし	F80あり		他の重複あり		
					重複なし	F81あり	重複なし	F81あり					重複なし	F81あり	重複なし	F81あり		重複なし		F81あり	重複なし	F81あり
1歳代以下																						
2歳代																	1					1
3歳代																						
4歳代																						
5～6歳代				1																		1
1年生				1			1															2
2～3年生				4				1														5
4～5年生				1				1														2
不明																						
合計				7			1	2									1					11
(男女)	(:)	(:)	(:)	(5 : 2)	(:)	(:)	(1 : 0)	(2 : 0)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)	(1 : 0)	(:)	(:)	(:)	(:)	(9 : 2)